

上告状兼 上告受理申立書 記入例

最高裁判所 御中

あなたの住所、氏名、電話番号等を記入し、認め印を押してください。

この書面を作成した日
を記入してください。

令和〇年〇〇月〇〇日

上告状兼上告受理申立書

上告人兼申立人	〒〇〇〇-〇〇〇〇	受付日付印欄	
	住所 千代田区霞が関〇丁目〇番〇号	相手方の住所及び氏名を記入してください。	
氏名 甲野太郎 印	Tel.〇〇(〇〇〇)〇〇〇 Fax.〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		
被上告人兼相手方	〒〇〇〇-〇〇〇〇	この書面に貼付した収入印紙の合計額を記入してください。	
	住所 千代田区霞が関〇丁目〇番〇号		
	氏名 乙野次郎		
訴訟物の価額	〇〇万〇〇〇〇円	貼用印紙	〇〇〇〇〇円
上記当事者間の東京高等裁判所 ①平成・令和〇年(〇)第〇〇〇〇号			
② 〇〇〇〇〇〇 請求控訴事件につき、			
裁判所が③令和〇年〇〇月〇〇日に言い渡した判決(④令和〇年〇〇月〇〇日)上告人兼上告受理申立人に送達)は不服であるから上告及び上告受理の申立てをする。			
控 訴 審 判 決 の 表 示			
(記載例1) 本件控訴を棄却する。 控訴費用は控訴人の負担とする。			
(記載例2) 原判決を取り消す。 被控訴人は、控訴人に対し、〇〇円を支払え。 訴訟費用は、第1, 2審とも被控訴人の負担とする。 (<input type="checkbox"/> 別紙のとおり)			
上 告 の 趣 旨			
原判決を破棄し、更に相当の裁判を求める。			
上 告 受 理 申 立 の 趣 旨			
1 本件上告を受理する。 2 原判決を破棄し、更に相当の裁判を求める。			
上 告 兼 上 告 受 理 申 立 の 理 由			
各々の上告理由書及び上告受理申立理由書を追って提出する。			

不明な場合は、担当部で確認して記入してください。

判決に記載された
① 事件番号
② 事件名
③ 判決言渡日を記入してください。
④は分かる場合、記入してください。

判決の主文を記入するか、又は判決主文を記入した別紙を添付してください。
別紙を添付する場合は、「 別紙のとおり」の口にレを付してください。

※ 添付書類について

- この書面の副本・・・被上告人兼相手方の人数分の通数
- 資格証明書(当事者が法人等の場合に必要)・・・法人等ごとに1通